

日本童謡協会は次のような事業を行っています

●童謡祭

毎年会員による新作童謡を発表する音楽会を開催しています。

●こどものコーラス展

毎年会員による新作児童合唱曲の音楽会を開催しています。

●年刊「こどものうた」の刊行

毎年詩人会員の新作による年刊童謡詩集「こどものうた」を発行しています。

●日本童謡賞

毎年「童謡の日」に、前年度の全童謡業績を対象としてこれを審査したものの中から優秀なものに〈日本童謡賞〉を贈っています。

●童謡文化賞

2002年に東京書籍株式会社の協賛を得て創設されました。日本国内において童謡文化の普及発展に寄与した「個人」もしくは「団体」に〈童謡文化賞〉贈っています。

●寛仁親王牌童謡こどもの歌コンクール

公文教育研究会と共同提唱し、毎年寛仁親王牌童謡こどもの歌コンクール（子ども、大人、ファミリー各部門）を行っています。各部門の金賞受賞者に寛仁親王牌が授与され、BS朝日を通じ全国にテレビ放送されています。

●三木露風賞新しい童謡コンクール

三木露風生誕の地、兵庫県たつの市は1984（S59）年に「童謡の里宣言」をして以後、童謡の継承、発展に努めています。童謡協会は1984年以来、たつの市と共催して全国から詩を公募、優秀作品に作曲し、新作童謡を世に送り出すコンクールを毎年開催しています。

■海外との交流

海外の図書館等へ童謡協会の出版物を寄贈するなど、海外との交流をはかっています。

■会報の発行

年4回、会報「日本童謡協会」を発行しています。

■出版

各種楽譜集、詩集、CDを日本童謡協会編として発行しています。

■その他

全国童謡・唱歌サミットや地方自治体、関連団体との共催・後援・協賛・コンクール審査委員派遣・童謡コンサートの制作協力を多数行っています。

♪「童謡の日」は、1918（T7）年7月1日に発行された子どものための芸術的文学運動雑誌「赤い鳥」にちなんでいます。

「赤い鳥」は2018（H30）年に創刊100周年を迎えます。童謡協会では「童謡100年」に向けて、記念誌の出版やコンサートの開催などの記念事業を企画しています。

♪童謡は世界に誇る日本の子どもたちの優れた文化所産です。

日本童謡協会HP <http://www.douyou.jp>

協会ホームページでは、会の概要や活動の内容を随時紹介しています。